

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京情報大学
設置者名	学校法人東京農業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
総合情報学部	総合情報学科	夜・通信		2	66	68	13	
看護学部	看護学科	夜・通信		2	89	91	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/public-info/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京情報大学
設置者名	学校法人東京農業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学（法人）ホームページに公表している。
<https://www.nodai.ac.jp/hojin/soshiki/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	東京農業大学校友会副会長 元公益社団法人職員	令和5年7月16日～令和9年度に開催される最初の定時評議員会の終結時まで	・卒業生理事として校友会との調整 ・外部団体経験者としての意見聴取
非常勤	元株式会社役員	令和5年7月16日～令和9年度に開催される最初の定時評議員会の終結時まで	・卒業生理事として校友会との調整 ・外部団体経験者としての意見聴取
非常勤	元国立研究開発法人職員	令和5年7月16日～令和9年度に開催される最初の定時評議員会の終結時まで	学識経験者理事として専門的意見の聴取
非常勤	株式会社役員	令和5年7月16日～令和9年度に開催される	学識経験者理事として専門的意見の聴取

		最初の定時 評議員会の 終 結 時 ま で	
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京情報大学
設置者名	学校法人東京農業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ○授業計画(シラバス)作成過程 ・掲載項目及び掲載方法検討(教務委員会):2025年10月28日(火) ○シラバス作成・公表時期 ・シラバス作成依頼:2026年1月30日(金) ・シラバス作成:2月2日(月)~2月16日(月) ・シラバス確認:2月18日(火)~2月27日(金) ・記載内容不備の訂正:3月2日(月)~3月9日(月) ・シラバス再確認:3月11日(水)~3月23日(月) ・シラバス公開:4月1日(水)	
授業計画書の公表方法	○東京情報大学 WEB 情報システム https://j-port.tuis.ac.jp/uprx/ ゲストユーザーでログインし、科目名あるいは教員名で検索し、確認する。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

東京情報大学学則第 22 条に、履修登録した授業科目は、試験により成績評価することを規定している。

・学則第 22 条に規定する試験に関する必要事項を定めている東京情報大学試験実施内規の第 18 条に、「各授業科目の成績は、100 点を満点とし、60 点以上（秀，優，良，可）を合格，60 点未満（不可）及び試験欠席（欠席）を不合格とする。」と規定している。

・具体的な「成績評価基準」を、学生ハンドブック及び大学ホームページ（以下のとおり）に掲載している。

<https://www.tuis.ac.jp/support/completion/evaluation/>

成績評価基準

1：履修した授業科目の成績評価は、原則として試験（筆記試験・論文・レポート・その他）により行います。

2：成績評価基準、および成績証明書等の成績の表記は、下表のとおりです。

3：放送大学および千葉県内私立大学との単位互換科目の成績評価は、当該大学の評価を、それに該当する本学の標語に置き換えて表示する。

・成績評価と GP

判定	評価点	成績原簿表記	成績証明書表記	G P	成績評価内容
合格	100～90 点	秀	秀	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	89～80 点	優	優	3	到達目標を十分に達成している
	79～70 点	良	良	2	到達目標を達成している
	69～60 点	可	可	1	到達目標を最低限達成している
不合格	59 点以下	不	表示せず	0	到達目標を達成していない
	—	欠	表示せず	0	試験欠席・レポート未提出・出席不足
合格	—	認	認	—	対象外とする

※成績証明書への「秀」の表記は、平成 29 年度以降の入学者が対象です。

※当該授業担当者の定める授業日数を満たしていない場合（原則として 2/3 以上の出席が必要）、最終試験を受験したとしても、出席不足という扱いで「欠」となることもあります。

・各授業科目担当者は、シラバスに記載した成績評価の方法による成績と上記成績評価基準に基づき、厳格かつ適正に評価し単位を与えている。

3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○GPA に関する以下の内容を学生ハンドブック及び大学ホームページで公表している。

・GPA 制度

GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数 (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいいます。この GPA は、学修への取り組みを質的に把握するための指標となり、学期ごとに比較することで、学修した成果を判断する目安となります。また、不合格の科目も算出対象となるので、計画的な履修をするよう心がけてください。

・成績評価と GP

成績評価	GP	点数	備考
秀	4	100 点～90 点	
優	3	89 点～80 点	
良	2	79 点～70 点	
可	1	69 点～60 点	
不	0	59 点以下	
欠	0	欠席	
認	—	—	対象外とする

客観的な指標の
算出方法の公表方法

○大学ホームページ「成績評価について」
<https://www.tuis.ac.jp/support/completion/evaluation/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

東京情報大学は、以下のような学士力を身につけ、卒業要件単位数を修得した学生に対して、卒業時に学士の学位を授与する。

総合情報学部 2017～2022 年度入学者：学位授与の方針（ディプロマポリシー）

【東京情報大学】

◆知識・理解

1. 専門分野の知識を習得し、社会の中で活用することができる。

◆汎用的技能

1. コミュニケーション能力を高め、自らの意見を論理的・効果的に伝えることができる。

2. 情報を適切に収集、分析及び活用することができる。

3. 社会人として必要な基礎的な知識と幅広い教養を身につけている。

◆態度・志向性

1. 社会人として必要な自己管理能力、協調性、統率力、倫理観、規律性を身につけている。

2. 情報モラルを身につけ、ICTを利活用することができる。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 主体的に課題を発見し、その課題を解決することができる。

【総合情報学部総合情報学科】

◆知識・理解

1. 情報科学や社会情報学についての豊かな知識を身につけている。

2. 高度かつ専門的なICTの知識及び技術を身につけている。

◆汎用的技能

1. 情報社会の分析・企画・立案をすることができる。

◆態度・志向性

1. 情報社会の変化に対応すべく、幅広く自律的に学ぶ姿勢を身につけている。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 柔軟な課題解決能力を備えた情報のプロフェッショナルとして、人にやさしい情報社会の実現に貢献できる能力を身につけている。

2. 地域連携等を通じて、実社会で新たな価値が創造できるようになる。

【学系】

《情報システム学系》

◆知識・理解

1. 情報工学における基礎的な知識を身につけ、社会の要請にこたえるために、情報工学の基本的な技術を活用できる。

2. システム開発分野、ネットワーク分野、人工知能・ビッグデータ分野のいずれか1つの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

◆汎用的技能

1. 技術者として、情報システムの開発・運用を通じて情報技術の発展に貢献できる。

2. 情報ネットワークシステムの開発・運用を通じて情報ネットワーク技術の発展に貢献できる。

3. 人工知能やビッグデータ技術を利用したシステムの開発・運用を通じて人工知能やビッグデータ技術の発展に貢献できる。

4. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

◆態度・志向性

1. 工学的な情報の知識と技能を用いて社会に貢献できる。

2. 技術者あるいは研究者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。

2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、高い情報技術を持つことで情報社会に対応できる。

3. 情報システムの学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《数理情報学系》

◆知識・理解

1. 数理科学、統計学、情報科学における基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。

2. 数理情報分野、ビッグデータ及びスモールデータのいずれかの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

◆汎用的技能

1. 数理科学、統計科学、情報科学を利用したシステムの開発・運用を通じて、数理情報分野の発展に貢献できる。

2. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

◆態度・志向性

1. 数理的な情報の知識と技能を用いて社会に貢献できる。
 2. 技術者、研究者あるいは教育者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。
- ◆総合的な学習経験と創造的思考力
1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
 2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、数理情理的な視点を持つことで情報社会に対応できる。
 3. 数理情報の学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《社会情報学系》

◆知識・理解

1. 社会生活の向上に向けた新たな情報を創造するための基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。
2. メディア分野、経営分野、心理健康分野へのいずれか一つの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

◆汎用的技能

1. 情報の表現者、分析者として、メディア学、社会科学にもとづいた新たなコンテンツの創造を通じて、社会情報学分野の発展に貢献できる。
2. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

◆態度・志向性

1. 情報創造のためのメディアや専門知識を用いて社会に貢献できる。
2. 情報の表現者あるいは分析者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、社会生活に関わる情報を分析し、情報創造力と表現力を持つことで情報社会に対応できる。
3. 社会情報の学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

○本学を卒業するための要件

- ・4年以上在学すること。
- ・各学部、入学年度ごとに定める卒業要件単位数を修得していること。

卒業要件単位数（総合情報学科の2017～2022年度入学者に適用）

情報システム学系

卒業要件単位数														
合 計	◎必修科目						○選択必修科目					△選択科目		
	現代 実学	外国語	基礎 演習	情報 基礎	専門 基礎	卒業 研究	スポ ーツ	外国語	知識 創造	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 (基礎・応用)
	4	4	2	6	13	11	1	2	2	18	6	8	※	47
124	40						29					55		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
- (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。
- (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である18単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (4) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である6単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。
- (6) 自由選択科目を履修し修得した単位は、20単位まで専門選択の単位とする。
ただし、このうち科目区分「社会情報」の単位は8単位以内とする。

数理情報学系

卒業要件単位数															
合 計	◎必修科目							○選択必修科目					△選択科目		
	現代 実学	外国語	基礎 演習	総合 基礎	情報 基礎	専門 基礎	卒業 研究	スポ ーツ	外国語	知識 創造	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 （基礎・応用）
	4	4	2	4	6	19	11	1	2	2	12	12	4	※	41
124	50							29					45		

- (1) キャリアデザイン科目(※)は専門選択の単位とする。
 (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。
 (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である12単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (4) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である12単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。
 (6) 自由選択科目を履修し修得した単位は、20単位まで専門選択の単位とする。
 ただし、このうち科目区分「社会情報」の単位は8単位以内とする。

社会情報学系

卒業要件単位数													
合 計	◎必修科目						○選択必修科目				△選択科目		
	現代 実学	外国語	基礎 演習	情報 基礎	専門 基礎	卒業 研究	スポ ーツ	外国語	知識 創造	専門 基礎	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 (基礎・応用)
	4	4	2	6	6	11	1	2	2	10	8	※	68
124	33						15				76		

- (1) キャリアデザイン科目(※)は専門選択の単位とする。
 (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。
 (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である10単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。
 (5) 自由選択科目を履修し修得した単位は、20単位まで専門選択の単位とする。

総合情報学部 2023 年度以降入学：学位授与の方針（ディプロマポリシー）

【東京情報大学】

- ◆知識・理解
 1. 専門分野（情報学・看護学）の知識および情報通信技術、データの利活用技術に関する基本的知識を体系的に理解できる。
 ◆汎用的技能
 1. コミュニケーション能力を高め、自らの意見を論理的・効果的に伝えることができる。
 2. 情報モラルを遵守し、情報を適切に収集、分析及び活用することができる。
 3. 社会人として必要な基礎的な知識と幅広い教養を身につけている。
 ◆態度・志向性
 1. 社会人として必要な自己管理能力、協調性、統率力、倫理観、規律性を身につけ、社会の発展に貢献できる。
 ◆総合的な学習経験と創造的思考力
 1. 変化する社会に柔軟に対応し、主体的に新たな課題を発見し、これまでに獲得した知識・技能、態度などを総合的に活用してその課題を解決することができる。

【総合情報学部総合情報学科】

- ◆知識・理解
 1. 情報科学、データ科学、情報メディアについての豊かな知識を身につけている。
 2. 高度かつ専門的なデータ科学の知識及び技術を身につけている。
 3. 高度かつ専門的な情報通信技術の知識及び技術を身につけている。
 ◆汎用的技能
 1. 情報社会の分析・企画・立案をすることができる。
 ◆態度・志向性
 1. 情報社会の変化に対応すべく、幅広く自律的に学ぶ姿勢を身につけている。
 ◆総合的な学習経験と創造的思考力
 1. 柔軟な課題解決能力を備えた情報のプロフェッショナルとして、人にやさしい情報社会の実現に貢献できる能力を身につけている。
 2. 地域連携等を通じて、実社会で新たな価値が創造できるようになる。

【学系】

《情報システム学系》

◆知識・理解

1. 情報工学における基礎的な知識を身につけ、社会の要請にこたえるために、情報工学の基本的な技術を活用できる。
2. システム開発分野、ネットワーク・セキュリティ分野、人工知能分野のいずれか1つ以上の分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

◆汎用的技能

1. 技術者、研究者あるいは教育者として、情報システムの開発・運用を通じて情報技術の発展に貢献できる。
2. セキュリティを考慮した情報ネットワークシステムの開発・運用を通じて、情報ネットワーク技術の発展に貢献できる。
3. 人工知能技術を利用したシステムの開発・運用を通じて人工知能技術の発展に貢献できる。
4. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

◆態度・志向性

1. 全般的な情報に関する知識と技能を用いて社会に貢献できる。
2. 常に新しい知識・技術を吸収し、学習を続ける意欲を持っている。
3. 技術者、研究者あるいは教育者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、高い情報技術を持つことで情報社会に対応できる。
3. 情報システムの学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《データサイエンス学系》

◆知識・理解

1. 数理学、統計学、情報科学における基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。
2. 数理情報分野、生命科学・心理学・環境科学のいずれかの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。
3. データの処理と分析に関する基礎的な知識を持ち、実社会で活用できる能力を身につけている。

◆汎用的技能

1. 数理学、統計学、情報科学を利用し、データサイエンス分野の発展に貢献できる。
2. 生命科学・心理学・環境科学のいずれかの分野においてデータを利活用することを通して現代社会の課題解決に貢献できる。
3. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

◆態度・志向性

1. データサイエンスに関する専門知識を用いて社会に貢献できる。
2. 生命・環境・人間の行動について常に問題意識を持ち、解決策を模索する意欲を持っている。
3. 技術者、研究者あるいは教育者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、高い情報分析技術を持つことで情報社会に対応できる。
3. データサイエンスの学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《情報メディア学系》

◆知識・理解

1. 社会生活の向上に向けた新たな情報を創造するための情報メディアの基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。
2. メディア分野、経営情報分野へのいずれか一つの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

◆汎用的技能

1. 情報の表現者、分析者として、情報メディア学、人文社会科学にもとづいた新たなコンテンツの創造を通じて、情報メディア分野の発展に貢献できる。
2. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

◆態度・志向性

1. 情報創造のための情報メディアに関する専門知識を用いて社会に貢献できる。
2. 情報の表現者あるいは分析者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、高い情報創造力と表現力を持つことで情報社会に対応できる。
3. 情報メディアの学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《教職課程》

◆知識・理解

1. 教科と教職に関する基本的な知識を体系的に理解し、実学を重視した専門知識を有している。
- ◆汎用的技能
1. 生徒に基礎的な知識・技能を習得させ、思考力、判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を育む指導力を有している。
 2. 学校現場で活かすことができる授業実践力および学級経営能力を有している。
 3. キャリア教育を含む進路指導と、多様な問題や課題を抱えた生徒に対応できる指導ができる。
- ◆態度・志向性
1. 自らの資質向上に不断に取り組む、学び続ける力を有している。
 2. 教員としての職業モラルと職務遂行能力及びコミュニケーション能力を有している。
- ◆総合的な学習経験と創造的思考力
1. ICTを用いた効果的な授業や適切なデジタル教材の開発・活用の基礎力・指導力を有している。

○本学を卒業するための要件

- ・4年以上在学すること。
- ・各学部、入学年度ごとに定める卒業要件単位数を修得していること。

卒業要件単位数（総合情報学科の2023年度以降入学者に適用）

情報システム学系

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代実学	外国語	知識創造	基礎演習	総合基礎	情報基礎	専門基礎	専門応用	卒業研究	スポーツ	外国語	専門基礎	専門応用	総合基礎	キャリアデザイン	専門選択（基礎・応用）
	4	4	2	1	－	10	19	3	11	1	2	8	8	8	※	43
124	54									19				51		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
- (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である8単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (3) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である8単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (4) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
- (5) 他学系履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

データサイエンス学系

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代実学	外国語	知識創造	基礎演習	総合基礎	情報基礎	専門基礎	専門応用	卒業研究	スポーツ	外国語	専門基礎	専門応用	総合基礎	キャリアデザイン	専門選択（基礎・応用）
	4	4	2	1	4	10	13	－	11	1	2	24	－	4	※	44
124	49									27				48		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
- (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である24単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (3) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
- (4) 他学系履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

※2022～2024 入学者に適用

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代 実学	外国語	知識 創造	基礎 演習	総合 基礎	情報 基礎	専門 基礎	専門 応用	卒業 研究	スポーツ	外国語	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 (基礎・応用)
124	4	4	2	1	4	10	9	-	11	1	2	24	-	4	※	48
45										27				52		
(1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。																
(2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である24単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。																
(3) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。																
(4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。																

※2025 以降入学者に適用

情報メディア学系

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代 実学	外国 語	知識 創造	基礎 演習	総合 基礎	情報 基礎	専門 基礎	専門 応用	卒業 研究	スポ ーツ	外国 語	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリ アデザ イン	専門選択 (基礎・応用)
	4	4	2	1	－	10	6	－	11	1	2	10	－	8	※	65
124	38									13				73		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
 (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である10単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (3) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
 (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

看護学部看護学科：学位授与の方針（ディプロマポリシー）

【東京情報大学】

◆知識・理解

- 専門分野（情報学・看護学）の知識および情報通信技術，データの利活用技術に関する基本的知識を体系的に理解できる。

◆汎用的技能

- コミュニケーション能力を高め，自らの意見を論理的・効果的に伝えることができる。
- 情報モラルを遵守し，情報を適切に収集，分析及び活用することができる。
- 社会人として必要な基礎的な知識と幅広い教養を身につけている。

○態度・志向性

- 社会人として必要な自己管理能力，協調性，統率力，倫理観，規律性を身につけ，社会の発展に貢献できる。

総合的な学習経験と創造的思考力

- 変化する社会に柔軟に対応し，主体的に新たな課題を発見し，これまでに獲得した知識・技能，態度などを総合的に活用してその課題を解決することができる。

【看護学部看護学科】

◆知識・理解

- 看護学および看護実践に関する基礎的知識を有している。
- 看護実践を支え，発展させる科学的根拠に基づいた知識を有している。
- 地域医療・ケアに関わる情報活用と情報発信の基礎的知識を有している。

◆汎用的技能

- 生命に対する畏敬の念としなやかな創造力を有し，地域で暮らす生活者への看護ケアに必要な基礎的技能を有する。
- 主体的学習と協同学習を推進していく技能を有する。
- 社会人としての幅広い教養とコミュニケーション能力を有する。

◆態度・志向性

- 看護の対象である人々を個人，集団の視点からより深く理解することに関心が持てる。
- 患者・利用者の意思を尊重し，高い倫理性に裏付けられた援助が行える。
- 保健医療福祉の職業人と相補的にフォローアップ・リーダーシップ・アントレプレナーシップをとりながら協働できる。

◆総合的な学習経験と創造的思考力

1. 看護実践に必要な基礎的能力を修得し、科学的根拠に基づいた適切なケアを提供する能力を有する。
2. 情報リテラシーを修得し、利用者中心のケアに向けたチーム医療への高い関心を発揮しながら、看護にかかわる情報を実践的に活用・発信できる能力を有する。
3. 看護職としての社会的責任を自覚して、社会の発展に積極的に貢献し、生涯を通じて知識や技術を習得しつづける能力を有する。

○本学を卒業するための要件

- ・4年以上在学すること。
- ・各学部、入学年度ごとに定める卒業要件単位数を修得していること。

卒業要件単位数（看護学科の2017～2021年度入学者に適用）

卒業要件単位数									
合 計	全学共通科目		基礎科目	専門教育科目		全学共通科目	基礎科目	専門教育科目	
	全学基礎科目		基礎科目	専門基礎科目	専門科目	全学基礎科目	基礎科目	専門基礎科目	専門科目
	必修	選択必修	必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択
124	4	2	2	29	75	12			

必修科目110単位、全学基礎科目のスポーツ演習a～d及び英語a～dから各1単位以上、全ての選択科目から12単位以上（全学基礎科目及び基礎科目から5単位を必ず修得）を修得し、124 単位以上を修得すること。

卒業要件単位数（看護学科の2022年度以降入学者に適用）

卒業要件単位数									
合 計	全学共通科目		基礎科目	専門教育科目		全学共通科目	基礎科目	専門教育科目	
	全学基礎科目		基礎科目	専門基礎科目	専門科目	全学基礎科目	基礎科目	専門基礎科目	専門科目
	必修	選択必修	必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択
124	4	2	1	27	78	12			

必修科目110単位、全学基礎科目のスポーツ演習a～d及び外国語から各1単位以上、全ての選択科目から12単位以上（全学基礎科目及び基礎科目から7単位を必ず修得）を修得し、124 単位以上を修得すること。

○卒業判定の手順

通年及び後期授業科目の評価登録を 2 月上旬までに行い、この結果を踏まえて卒業判定を実施している。

判定後の卒業者については、3 月上旬に学科教員会及び学部教授会の中で審議し、最終的には学長の承認を得て決定している。また、3 月 18 日に卒業者を発表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

○大学ホームページ「学士課程教育の目的および方針」
<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy>

○大学ホームページ「卒業するには」
<http://www.tuis.ac.jp/support/completion/graduate/>

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京情報大学
設置者名	学校法人東京農業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/public-info/
収支計算書又は損益計算書	https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/public-info/
財産目録	https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/public-info/
事業報告書	https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/public-info/
監事による監査報告（書）	https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/public-info/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：
公表方法：	
中長期計画（名称：学校法人東京農業大学第4期中期事業計画（N2026） 対象年度：2023～2026）	
公表方法： https://www.nodai.ac.jp/hojin/plan/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/self-check/>

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法：<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/self-check/accreditation/>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合情報学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy/） （概要） 総合情報学部総合情報学科は、建学の精神「未来を切り拓く」及び教育理念「現代実学主義」の精神に基づき、急速に進展する情報社会の将来を見据え、情報社会に貢献できる優れた情報収集、処理、分析及び発信能力をもった人材の育成を目指す教育及び情報学に関する研究を行う。 （東京情報大学学則 第 2 条第 2 項の別表第 1 より）
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy/ https://www.tuis.ac.jp/support/completion/graduate/） （概要） 総合情報学部 2017～2022 年度入学者：学位授与の方針（ディプロマポリシー） 【総合情報学部総合情報学科】 知識・理解 1. 情報科学や社会情報学についての豊かな知識を身につけている。 2. 高度かつ専門的な I C T の知識及び技術を身につけている。 汎用的技能 1. 情報社会の分析・企画・立案をすることができる。 態度・志向性 1. 情報社会の変化に対応すべく、幅広く自律的に学ぶ姿勢を身につけている。 総合的な学習経験と創造的思考力 1. 柔軟な課題解決能力を備えた情報のプロフェッショナルとして、人にやさしい情報社会の実現に貢献できる能力を身につけている。 2. 地域連携等を通じて、実社会で新たな価値が創造できるようになる。 【学系】 《情報システム学系》 知識・理解 1. 情報工学における基礎的な知識を身につけ、社会の要請にこたえるために、情報工学の基本的な技術を活用できる。 2. システム開発分野、ネットワーク分野、人工知能・ビッグデータ分野のいずれか 1 つの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。 汎用的技能 1. 技術者として、情報システムの開発・運用を通じて情報技術の発展に貢献できる。 2. 情報ネットワークシステムの開発・運用を通じて情報ネットワーク技術の発展に貢献できる。 3. 人工知能やビッグデータ技術を利用したシステムの開発・運用を通じて人工知能やビッグデータ技術の発展に貢献できる。 4. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。 態度・志向性 1. 工学的な情報の知識と技能を用いて社会に貢献できる。 2. 技術者あるいは研究者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。 総合的な学習経験と創造的思考力 1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。 2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、高い情報技術を持つことで情報社会に対応できる。 3. 情報システムの学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。 《数理情報学系》 知識・理解 1. 数理科学、統計学、情報科学における基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。 2. 数理情報分野、ビッグデータ及びスモールデータのいずれかの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。 汎用的技能 1. 数理科学、統計科学、情報科学を利用したシステムの開発・運用を通じて、数理情報分野の発展に貢献できる。

2. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

態度・志向性

1. 数理的な情報の知識と技能を用いて社会に貢献できる。
2. 技術者、研究者あるいは教育者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、数理情理的な視点を持つことで情報社会に対応できる。
3. 数理情報の学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《社会情報学系》

知識・理解

1. 社会生活の向上に向けた新たな情報を創造するための基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。
2. メディア分野、経営分野、心理健康分野へのいずれか一つの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

汎用的技能

1. 情報の表現者、分析者として、メディア学、社会科学にもとづいた新たなコンテンツの創造を通じて、社会情報学分野の発展に貢献できる。
2. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

態度・志向性

1. 情報創造のためのメディアや専門知識を用いて社会に貢献できる。
2. 情報の表現者あるいは分析者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、社会生活に関わる情報を分析し、情報創造力と表現力を持つことで情報社会に対応できる。
3. 社会情報の学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

総合情報学部 2023 年度以降入学者：学位授与の方針（ディプロマポリシー）

【総合情報学部総合情報学科】

知識・理解

1. 情報科学、データ科学、情報メディアについての豊かな知識を身につけている。
2. 高度かつ専門的なデータ科学の知識及び技術を身につけている。
3. 高度かつ専門的な情報通信技術の知識及び技術を身につけている。

汎用的技能

1. 情報社会の分析・企画・立案をすることができる。

態度・志向性

1. 情報社会の変化に対応すべく、幅広く自律的に学ぶ姿勢を身につけている。

総合的な学習経験と創造的思考力

1. 柔軟な課題解決能力を備えた情報のプロフェッショナルとして、人にやさしい情報社会の実現に貢献できる能力を身につけている。
2. 地域連携等を通じて、実社会で新たな価値が創造できるようになる。

【学系】

《情報システム学系》

知識・理解

1. 情報工学における基礎的な知識を身につけ、社会の要請にこたえるために、情報工学の基本的な技術を活用できる。
2. システム開発分野、ネットワーク・セキュリティ分野、人工知能分野のいずれか 1 つ以上の分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。

汎用的技能

1. 技術者、研究者あるいは教育者として、情報システムの開発・運用を通じて情報技術の発展に貢献できる。
2. セキュリティを考慮した情報ネットワークシステムの開発・運用を通じて、情報ネットワーク技術の発展に貢献できる。
3. 人工知能技術を利用したシステムの開発・運用を通じて人工知能技術の発展に貢献できる。
4. 他者との高いコミュニケーション能力を有し、論理的な議論ができる。

態度・志向性

1. 全般的な情報に関する知識と技能を用いて社会に貢献できる。
2. 常に新しい知識・技術を吸収し、学習を続ける意欲を持っている。
3. 技術者、研究者あるいは教育者として自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

総合的な学習経験と創造的思考力

1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち、自主的・総合的に学習できる。
2. 自然、社会、文化に対して幅広い教養を持ち、高い情報技術を持つことで情報社会に対応できる。
3. 情報システムの学びを総合的に活用することにより、自ら課題を設定し、実社会での問題解決策が導ける。

《データサイエンス学系》

知識・理解

1. 数理科学，統計学，情報科学における基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。 2. 数理情報分野，生命科学・心理学・環境科学のいずれかの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。 3. データの処理と分析に関する基礎的な知識を持ち，実社会で活用できる能力を身につけている。 汎用的技能 1. 数理科学，統計学，情報科学を利用し，データサイエンス分野の発展に貢献できる。 2. 生命科学・心理学・環境科学のいずれかの分野においてデータを利活用することを通して現代社会の課題解決に貢献できる。 3. 他者との高いコミュニケーション能力を有し，論理的な議論ができる。 態度・志向性 1. データサイエンスに関する専門知識を用いて社会に貢献できる。 2. 生命・環境・人間の行動について常に問題意識を持ち，解決策を模索する意欲を持っている。 3. 技術者，研究者あるいは教育者として自覚を持ち，高い倫理観を身につけている。 総合的な学習経験と創造的思考力 1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち，自主的・総合的に学習できる。 2. 自然，社会，文化に対して幅広い教養を持ち，高い情報分析技術を持つことで情報社会に対応できる。 3. データサイエンスの学びを総合的に活用することにより，自ら課題を設定し，実社会での問題解決策が導ける。 《情報メディア学系》 知識・理解 1. 社会生活の向上に向けた新たな情報を創造するための情報メディアの基礎的な知識・技術を身につけ活用できる。 2. メディア分野，経営情報分野へのいずれか一つの分野の応用について理解する能力と関連分野の基礎知識を有している。 汎用的技能 1. 情報の表現者，分析者として，情報メディア学，人文社会科学にもとづいた新たなコンテンツの創造を通じて，情報メディア分野の発展に貢献できる。 2. 他者との高いコミュニケーション能力を有し，論理的な議論ができる。 態度・志向性 1. 情報創造のための情報メディアに関する専門知識を用いて社会に貢献できる。 2. 情報の表現者あるいは分析者として自覚を持ち，高い倫理観を身につけている。 総合的な学習経験と創造的思考力 1. 自分自身の成長について高い意欲を持ち，自主的・総合的に学習できる。 2. 自然，社会，文化に対して幅広い教養を持ち，高い情報創造力と表現力を持つことで情報社会に対応できる。 3. 情報メディアの学びを総合的に活用することにより，自ら課題を設定し，実社会での問題解決策が導ける。 《教職課程》 知識・理解 1. 教科と教職に関する基本的な知識を体系的に理解し，実学を重視した専門知識を有している。 汎用的技能 1. 生徒に基礎的な知識・技能を習得させ，思考力，判断力，表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を育む指導力を有している。 2. 学校現場で活かすことができる授業実践力および学級経営能力を有している。 3. キャリア教育を含む進路指導と，多様な問題や課題を抱えた生徒に対応できる指導ができる。 態度・志向性 1. 自らの資質向上に不断に取り組む，学び続ける力を有している。 2. 教員としての職業モラルと職務遂行能力及びコミュニケーション能力を有している。 総合的な学習経験と創造的思考力 1. ICTを用いた効果的な授業や適切なデジタル教材の開発・活用の基礎力・指導力を有している。
--

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：
<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy/>）

（概要） 総合情報学部 2023 年度以降入学者：教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー） 【総合情報学部総合情報学科】 総合情報学部総合情報学科では，情報学の幅広い専門知識と専門科目を身につけるために，共通基礎科目，情報基礎科目，キャリアデザイン科目を設置する。 1. 共通基礎科目を，「基礎演習」，「総合基礎」，「知識創造」，「実用語学」に分類する。 2. 「基礎演習」では，総合情報学部で学修する知識や技能を体系的に身につけるために，学習動機付けを促進したり，コミュニケーション能力や創造的な思考力・理解力を育むために，参加型少人数授業を実施する。 3. 「総合基礎」では，高度な科学技術知識を総合的に習得し，これを情報社会で活用できるようになるために必要な教養的知識や基礎知識について身につける。 4. 「知識創造」では，初年次教育における「基礎演習」での学びに加えて，学部・学科の教育内容に興味を持たせ，その後の教育プログラムにうまく乗せていくために，体験型学習による能動的で自律的・自律的な学習態度への転換を促す授業を実施する。さらに，クリティカルシンキングやコミュニケーション能力など大学で学ぶた
--

めの思考方法についても習得する。

5. 「実用語学」では、「全学共通科目」で学んだ、国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力に加えて、情報社会に通用する国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を、コンピュータおよびビジネス分野に限定して習得する。

6. 情報基礎科目では、情報化社会を生きていくために必要となる、情報に関する基礎的な知識を身につける。

7. キャリアデザイン科目では、キャリア支援を実施するとともに、インターンシップも支援していく。

【学系】

《情報システム学系》

情報システム学系では、社会のニーズに応える情報システムを構築するために、情報システムに対する深い関心と理解を持ち、その構成要素と要素技術に関する知識を学び、これらの統合によりシステムとして纏めあげていく技術を学ぶ必要がある。これらを実現するために、専門教育科目を「専門基礎科目」、「専門応用科目」、「卒業研究」に分類する。また、教職課程の高校一種「情報」免許取得を可能とする。

1. 専門基礎科目を、「共通」、「情報システム」、「数理情報」、「社会情報」に区分する。

2. 専門基礎科目に該当する「共通」科目では、情報システム学系を学んでいくために、「総合情報学」の導入教育や「情報システム学系」の入門科目を設置する。

3. 専門基礎科目に該当する「情報システム」科目では、コンピュータ全般にわたる基礎知識、ソフトウェアおよびプログラミングに関する基礎的な能力、情報通信に関する基礎知識、情報システムの基礎知識、環境を対象としたデータ解析・応用の基礎知識を習得する。

4. 専門応用科目に該当する「情報システム」科目では、情報システムの開発・運用、情報ネットワークシステムの開発・運用、人工知能やビッグデータ技術を利用した応用システムの開発・運用に関する技術を習得する。

5. 情報システム学に関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために、「数理情報」、「社会情報」の専門基礎科目および専門応用科目を、自由選択科目として選択・履修できるようにする。

6. 「卒業研究」では、情報システムの学びを総合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合し、実社会での問題解決策を個別指導により考察し、卒業論文として纏める。

7. 教職課程では、情報社会に積極的に参画する能力と態度を養う分野、情報を効果的に活用する科学的な考え方を養う分野、および、情報モラル、知的財産の保護、情報の安全等に対する実践的な情報活用力を養う分野を学ぶ。さらに、多様化する情報社会において、その変化と学校現場を取り巻く状況を踏まえ、柔軟に対応できる専門的知識を身につけた教員としての資質を備えた人材を育成する。

《数理情報学系》

数理情報学系では、情報社会における様々な問題を、数理的手法とコンピュータ技術を駆使して合理的かつ効率的に解決できる実践的な能力を習得する必要がある。これを実現するために、専門教育科目を「専門基礎科目」、「専門応用科目」、「卒業研究」に分類する。また、教職課程の中高一種「数学」免許取得を可能とする。

1. 専門基礎科目を、「共通」、「情報システム」、「数理情報」、「社会情報」に区分する。

2. 専門基礎科目に該当する「共通」科目では、「総合情報学」全体の導入教育や、「数理情報学系」の入門科目を設置する。

3. 専門基礎科目に該当する「数理情報」科目では、数理情報学全般にわたる基礎知識、数理情報学の基礎となる数学の諸分野の基礎知識、コンピュータを用いて数理的な処理を行うための基礎知識と技術を習得する。

4. 専門応用科目に該当する「数理情報」科目では、より高度な数学的知識を学ぶと共に、統計学やデータサイエンス等に関する専門的、実践的、かつ多様な知識を習得し、数理的手法とコンピュータを連携させ、情報社会における様々な問題を合理的かつ効率的に解決するための総合的な知識と技術を習得する。

5. 数理情報学に関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために、「情報システム」、「社会情報」の専門基礎科目および専門応用科目を、自由選択科目として選択・履修できるようにする。

6. 「卒業研究」では、教員の指導のもとで、研究課題を設定し、数理情報学系での学びを総合的に活用し、さらに進んだ知識と技術の習得に努め、学んだ知識と技術を主体的に実践し、その結果を真摯に考察し、新たな知見を生み出すことに挑戦する。そして、その最終成果を卒業論文として纏める。

7. 教職課程では、数学の代表的分野、自然、社会、人間の各現象に関わる「情報」を、コンピュータを用いて数理的に扱う分野、および、情報モラル、知的財産の保護、情報の安全等に対する実践的な情報活用力を養う分野を学ぶ。さらに、ICTを用いた効果的な授業や適切なデジタル教材の開発・活用能力の養成を受けることで、より分かりやすい役に立つ数学の指導と、意欲的、協働的に、また創造的な学びや活動を実現化する人材を育成する。

《社会情報学系》

社会情報学系では、社会のニーズに応える社会情報を構築するために、社会情報に対する深い関心と理解を持ち、情報表現、情報分析、メディア文化、経営学、心理学、および、スポーツ科学に関する知識を学び、これらの統合により新たな価値の創造ができるよう学ぶ必要がある。これらを実現するために、専門教育科目を「専門基礎科目」、「専門応用科目」、「卒業研究」に分類する。

1. 専門基礎科目を、「共通」、「情報システム」、「数理情報」、「社会情報」に区分する。

2. 専門基礎科目に該当する「共通」科目では、社会情報学系の導入教育として、「総合情報学」や「社会情報学系」の基礎演習を設置する。

3. 専門基礎科目に該当する「社会情報」科目では、社会情報全般にわたる基礎知識、映像・音響、CGに関する基礎的な技術、メディア文化、経営学、心理学、スポーツ科学の基礎知識を習得する。

4. 専門応用科目に該当される「社会情報」科目では、映像表現、音響技術、CG技術、メディア文化、経営学、心理学、スポーツ科学に関する専門的知識と技術を習得する。

5. 社会情報学に関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために、「情報システム」，「数理情報」の専門基礎科目および専門応用科目を，自由選択科目として選択・履修できるようにする。
6. 「卒業研究」では，社会情報学の学びを総合的に活用し，自ら課題を設定し，理論と実践を融合し，実社会に対応できる情報表現能力や問題解決能力を個別指導により養い，卒業論文として纏める。

総合情報学部 2017～2022 年度入学者：教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

【総合情報学部総合情報学科】

総合情報学部総合情報学科では，情報学の幅広い専門知識と専門科目を身につけるために，共通基礎科目，情報基礎科目，キャリアデザイン科目を設置する。

1. 共通基礎科目を，「基礎演習」，「総合基礎」，「知識創造」，「実用語学」に分類する。
2. 「基礎演習」では，総合情報学部で学修する知識や技能を体系的に身につけるために，学習動機付けを促進し，コミュニケーション能力や創造的な思考力・理解力を育むために，参加型少人数授業を実施する。
3. 「総合基礎」では，高度な科学技術知識を総合的に習得し，これを情報社会で活用できるようになるために必要な教養的知識や基礎知識について身につける。
4. 「知識創造」では，初年次教育における「基礎演習」での学びに加えて，学部・学科の教育内容に興味を持たせ，その後の教育プログラムにうまく乗せていくために，体験型学習による能動的で自律的・自律的な学習態度への転換を促す授業を実施する。さらに，クリティカルシンキングやコミュニケーション能力など大学で学ぶための思考方法についても習得する。
5. 「実用語学」では，「全学共通科目」で学んだ，基礎的なコミュニケーション能力に加えて，情報社会に通用する基礎的なコミュニケーション能力を，コンピュータおよびビジネス分野に限定して習得する。
6. 情報基礎科目では，情報化社会を生きていくために必要となる，情報、およびデータサイエンスに関する基礎的な知識を身につける。
7. キャリアデザイン科目では，キャリア支援を実施するとともに，インターンシップも支援していく。

【学系】

《情報システム学系》

情報システム学系では，社会のニーズに応える情報システムを構築するために，情報システムに対する深い関心と理解を持ち，その構成要素と要素技術に関する知識を学び，これらの統合によりシステムとして纏めあげていく技術を学ぶ必要がある。これらを実現するために，専門教育科目を「専門基礎科目」，「専門応用科目」，「卒業研究」に分類する。また，教職課程の高校一種「情報」免許取得を可能とする。

1. 専門基礎科目を，「共通」，「情報システム」，「データサイエンス」，「情報メディア」に区分する。
2. 専門基礎科目に相当する「共通」科目では，情報システム学系を学んでいくために，「総合情報学」の導入教育や「情報システム学系」の入門科目を設置する。
3. 専門基礎科目に相当する「情報システム」科目では，コンピュータ全般にわたる基礎知識，ソフトウェアおよびプログラミングに関する基礎的な能力，情報通信に関する基礎知識，情報システムの基礎知識，環境を対象としたデータ解析・応用の基礎知識を習得する。
4. 専門応用科目に相当する「情報システム」科目では，情報システムの開発・運用，情報ネットワークシステムの開発・運用，人工知能やビッグデータ技術を利用した応用システムの開発・運用に関する技術を習得する。
5. 情報システム学に関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために，「データサイエンス」，「情報メディア」の専門基礎科目および専門応用科目を，自由選択科目として選択・履修できるようにする。
6. 「卒業研究」では，情報システムの学びを総合的に活用し，自ら課題を設定し，理論と実践を融合し，実社会での問題解決策を個別指導により考察し，卒業論文として纏める。
7. 教職課程では，情報社会に積極的に参画する能力と態度を養う分野，情報を効果的に活用する科学的な考え方を養う分野，および，情報モラル，知的財産の保護，情報の安全等に対する実践的な情報活用力を養う分野を学ぶ。さらに，多様化する情報社会において，その変化と学校現場を取り巻く状況を踏まえ，柔軟に対応できる専門的知識を身につけたコミュニケーション能力の高い教員としての資質を備えた人材を育成する。

《データサイエンス学系》

データサイエンス学系では，数理的手法とコンピュータ技術を駆使して合理的かつ効率的に解決できる実践的な能力を習得する必要がある。これを実現するために，専門教育科目を「専門基礎科目」，「専門応用科目」，「卒業研究」に分類する。また，教職課程の中高一種「数学」免許取得を可能とする。

1. 専門基礎科目を，「共通」，「情報システム」，「データサイエンス」，「情報メディア」に区分する。
2. 専門基礎科目に相当する「共通」科目では，「総合情報学」全体の導入教育や，「データサイエンス学系」の入門科目を設置する。
3. 専門基礎科目に相当する「データサイエンス」科目では，データサイエンス全般にわたる基礎知識，数理情報学の基礎となる数学の諸分野の基礎知識，コンピュータを用いて数理的な処理を行うための基礎知識と技術を習得する。あわせて，心理学、生命科学、環境科学の基礎知識を習得する。
4. 専門応用科目に相当する「データサイエンス」科目では，より高度な数学的知識を学ぶと共に，統計学やデータサイエンス等に関する専門的，実践的，かつ多様な知識を習得し，情報社会における様々な問題を合理的かつ効率的に解決するための総合的な知識と技術を習得する。
5. データサイエンスに関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために，「情報システム」，「情報メディア」の専門基礎科目および専門応用科目を，自由選択科目として選択・履修できるようにする。
6. 「卒業研究」では，教員の指導のもとで，研究課題を設定し，データサイエンス学系での学びを総合的に活用し，さらに進んだ知識と技術の習得に努め，学んだ知識と技術を主体的に実践し，その結果を真摯に考察し，新

たな知見を生み出すことに挑戦する。そして、その最終成果を卒業論文として纏める。

7. 教職課程では、数学の代表的分野、生命・環境・人間の行動の各現象に関わる「情報」を、コンピュータを用いて数理的に扱う分野、および、情報モラル、知的財産の保護、情報の安全等に対する実践的な情報活用力を養う分野を学ぶ。さらに、多様化する情報社会において、その変化と学校現場を取り巻く状況を踏まえ、柔軟に対応できる専門的知識を身につけたコミュニケーション能力の高い教員としての資質を備えた人材を育成する。

《情報メディア学系》

情報メディア学系では、社会のニーズに応える社会情報を構築するために、情報メディアに対する深い関心と理解を持ち、情報表現、情報分析、経営情報、メディア文化に関する知識を学び、これらの統合により新たな価値の創造ができるよう学ぶ必要がある。これらを実現するために、専門教育科目を「専門基礎科目」、「専門応用科目」、「卒業研究」に分類する。

1. 専門基礎科目を、「共通」、「情報システム」、「データサイエンス」、「情報メディア」に区分する。
2. 専門基礎科目に配当する「共通」科目では、情報メディア学系の導入教育として、「総合情報学」や「情報メディア学系」の基礎演習を設置する。
3. 専門基礎科目に配当する「情報メディア」科目では、情報メディア全般にわたる基礎知識、映像・音響、CGに関する基礎的な技術、メディア文化、経営学の基礎知識を習得する。
4. 専門応用科目に配当される「情報メディア」科目では、映像表現、音響技術、CG技術、メディア文化、経営学に関する専門的知識と技術を習得する。
5. 情報メディア学に関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために、「情報システム」、「データサイエンス」の専門基礎科目および専門応用科目を、自由選択科目として選択・履修できるようにする。
6. 「卒業研究」では、情報メディア学の学びを総合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合し、実社会に対応できる情報表現能力や問題解決能力を個別指導により養い、卒業論文として纏める。

《教職課程》

1. 情報モラル、コミュニケーションを重視した全学共通基礎科目、学科基礎科目を配置する。
2. 教科に関する一般的包括的内容を扱う科目に加えて、実学を重視した情報基礎科目、専門基礎科目の学修を通じて、情報及び情報技術が果たす役割や影響を理解する力と情報モラル、知的財産の保護、情報の安全等に対する実践的な態度を身につけ、情報活用の実践力を養う。
3. 単位の実質化および厳格な成績評価を前提として、教職課程において修得すべき単位を卒業所要単位として位置付ける。
4. 学校インターンシップによる学校現場の理解増進と、自らの教職への適性の確認を行う。
5. 情報通信技術に関する専門教育を経た上で、教科指導法を履修することによって、デジタル教材の開発・活用の基礎力・指導力を備える。
6. 卒業研究遂行を通じた先端的な技術・研究の理解と、自主性および積極性を涵養する。
7. 千葉県および千葉市教育委員会と連携して、県下の中学校及び特別支援学校(県立及び市立)での参観実習等を体験する機会を提供する。
8. 情報社会に積極的に参画する能力と態度を育成する「マルチメディアと表現及び技術」「情報通信ネットワーク」、情報を効果的に活用する科学的な考え方を養う「情報システム」「コンピュータ及び情報処理」を学ぶ。
9. 「代数学」「幾何学」「解析学」を基礎として、生命・環境・人間の行動の各現象に関わる「情報」を数理的に扱う「確率論、統計学」およびコンピュータを用いて各現象における問題を解く「データサイエンス」を学ぶ。

入 学 者 の 受 入 れ に 関 す る 方 針 (公 表 方 法 : <https://www.tuis.ac.jp/university/outline/policy/>)

(概要)

【総合情報学部総合情報学科】

現代の情報社会の様々な仕組みを基礎から理解し、実践力を身につけることを重視している。

そのために、高校までに学習する基礎的な学力に加えて、数学・理科・情報・社会等の教科に興味を持ち、グローバル化時代にふさわしい英語力を積極的に身につける意思のある人を求めている。

また、情報化社会では、情報技術の進歩に伴う急激な社会環境の変化に対応できる人材が求められている。本学部では、教育理念「現代実学主義」に即して、多様な視点から情報化社会が直面する複雑な問題を理解し、優れた情報収集能力、問題分析能力、情報発信能力を有する人材養成を目指している。これを実現するために、与えられた問題を多面的に捉え、総合的に考える能力と意欲のある人を求める。

《情報システム学系》

情報社会における様々な問題をコンピュータ技術を駆使して合理的かつ効率的に解決できる、実践的な能力及びシステム開発能力の修得を重視している。そのために、下

記の項目にあてはまる人を求めている。

- ・情報システムに関心を持ち、コンピュータに関わる技術を学ぶ意思の強い人
- ・情報システムを学ぶ前提となる基礎知識、特に数学・理科・情報等の科目に興味を持つ人
- ・情報システムの技術者として、積極的に地域社会に貢献する意欲を有する人

《データサイエンス学系》

情報社会における様々な問題をデータサイエンスを駆使して合理的かつ効率的に解決できる、実践的な能力の修得を重視している。そのために、下記の項目にあてはまる人を求めている。

- ・データサイエンスに関心を持ち、コンピュータやデータ分析に関する技術に関心のある人
- ・数学・情報・生命・環境・心理に関心のある人
- ・積極的に地域社会に貢献する意欲を有する人

《情報メディア学系》

情報社会における様々な問題を社会情報やメディアの視点から合理的かつ効果的に解決できる、高い創造力の修得を重視している。そのために、下記の項目にあてはまる人を求めている。

- ・情報メディアに関心を持ち、情報と人間との関わりに興味を持つ人、または、情報表現に関わる技術に興味を持つ人
- ・情報メディアを学ぶための前提となる基礎知識、特に、映像・音響、CG、Web、メディア文化、経営情報に興味を持つ人
- ・情報メディアのエキスパートとしての知識・技術を用いて、積極的に地域社会に貢献する意欲を有する人

学部等名 看護学部

教 育 研 究 上 の 目 的 (公 表 方 法 :
<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy/>)

(概要)

看護学部看護学科は、建学の精神「未来を切り拓く」及び教育理念「現代実学主義」の精神に基づき、急速に進む少子高齢社会を見据え、地域包括ケアシステムの中心的役割を担う情報活用と情報発信力に優れた看護職の育成を目指す教育及び看護学に関する研究を行う。(東京情報大学学則 第2条第2項の別表第1より)

卒 業 又 は 修 了 の 認 定 に 関 す る 方 針 (公 表 方 法 :
<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy/>
<https://www.tuis.ac.jp/support/completion/graduate/>)

(概要)

看護学部看護学科：学位授与の方針（ディプロマポリシー）

【看護学部看護学科】

◆知識・理解

1. 看護学および看護実践に関する基礎的知識を有している。
2. 看護実践を支え、発展させる科学的根拠に基づいた知識を有している。
3. 地域医療・ケアに関わる情報活用と情報発信の基礎的知識を有している。

◆汎用的技能

1. 生命に対する畏敬の念としなやかな創造力を有し、地域で暮らす生活者への看護ケアに必要な基礎的技能を有する。
2. 主体的学習と協同学習を推進していく技能を有する。
3. 社会人としての幅広い教養とコミュニケーション能力を有する。

◆態度・志向性

1. 看護の対象である人々を個人、集団の視点からより深く理解することに関心が持てる。
 2. 患者・利用者の意思を尊重し、高い倫理性に裏付けられた援助が行える。
 3. 保健医療福祉の職業人と相補的にフォローシップ・リーダーシップ・アントレプレナーシップをとりながら協働できる。
- ◆総合的な学習経験と創造的思考力
1. 看護実践に必要な基礎的能力を修得し、科学的根拠に基づいた適切なケアを提供する能力を有する。
 2. 情報リテラシーを修得し、利用者中心のケアに向けたチーム医療への高い関心を発揮しながら、看護にかかわる情報を実践的に活用・発信できる能力を有する。
 3. 看護職としての社会的責任を自覚して、社会の発展に積極的に貢献し、生涯を通じて知識や技術を習得しつづける能力を有する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：
<https://www.tuis.ac.jp/university/disclosure/policy/>）

（概要）

看護学部看護学科：教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

【看護学部看護学科】

看護学部では、しなやかでたくましい看護職を育成するために、自律と共創を基盤としながら、多様な人々と新しい価値を作り出しつづける力を涵養していくカリキュラムとする。

1. 全学共通の「全学基礎科目」、本学部の「基礎科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」に区分し、情報活用・発信力に優れ、科学的根拠に基づいた適切なケアが提供できる看護職を育成する。「基礎科目」には人間や環境の理解に関する科目、「専門基礎科目」には看護学の基礎となる健康に関する科目、「専門科目」には看護学の基盤領域、実践領域、統合領域および保健師科目を設置する。
2. 専門科目に配当する「象徴科目」では、学生がコア・コンピテンシ（情報活用・発信力、職業人としての基礎力、現場から学ぶ力）を意図し各科目を関連付けて学修できるようにする。
3. 臨地実習をはじめ、効果的で多様なアクティブ・ラーニングとなるような教育内容・教育方法とする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
<https://www.tuis.ac.jp/university/outline/policy/>）

（概要）

【看護学部看護学科】

生命・健康・暮らし・情報への関心を持ち、社会性を備え、看護学教育を受けるにふさわしい基礎学力を有しているものを受け入れる。

- ・しなやかでたくましい看護師・保健師になりたい者
- ・自己を見つめ、振り返りながら、自ら学ぼうとする意欲のある者
- ・多様な考えを受け入れて理解しようとし、自分の考えや感じていることを適切に表現できる者

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.tuis.ac.jp/university/outline/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
総合情報学部	－	23 人	17 人	0 人	5 人	0 人	45 人
看護学部	－	6 人	6 人	0 人	5 人	0 人	17 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		97 人					97 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.tuis.ac.jp/department/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合情報学部	400 人	447 人	110%	1,620 人	1,682 人	103.8%	10 人	3 人
看護学部	100 人	54 人	54%	400 人	211 人	52.8%	0 人	0 人
合計	500 人	501 人	100%	2,020 人	1,893 人	93.7%	10 人	3 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合情報学部	429 人 (100%)	15 人 (3.5%)	369 人 (86.0%)	45 人 (10.5%)
看護学部	55 人 (100%)	0 人 (0.0%)	50 人 (90.9%)	5 人 (9.1%)
合計	484 人 (100%)	15 人 (3.1%)	419 人 (86.6%)	50 人 (10.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：北陸先端科学技術大学院大学、東京情報大学大学院 就職先：(総合情報学部) ドコモ・データコム株式会社、千葉市、千葉県教育委員会 (看護学部) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター、日本赤十字社成田赤十字病院、南房総市				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
総合情報学部	476 人 (100%)	398 人 (83.6%)	30 人 (6.3%)	48 人 (10.1%)	0 人 (0.0%)
看護学部	71 人 (100%)	39 人 (54.9%)	14 人 (19.7%)	18 人 (25.4%)	0 人 (0.0%)
合計	547 人 (100%)	437 人 (79.9%)	44 人 (8.0%)	66 人 (12.1%)	0 人 (0.0%)
（備考）編入者を除く					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要） ○授業計画（シラバス）作成過程 ・掲載項目及び掲載方法検討（教務委員会）：2025 年 10 月 28 日（火） ○シラバス作成・公表時期 ・シラバス作成依頼：2026 年 1 月 30 日（金） ・シラバス作成：2 月 2 日（月）～2 月 16 日（月） ・シラバス確認：2 月 16 日（月）～2 月 27 日（金） ・記載内容不備の訂正：3 月 2 日（月）～3 月 9 日（月） ・シラバス再確認：3 月 11 日（水）～3 月 23 日（月） ・シラバス公開：4 月 1 日（水）

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要） ○成績評価の基準及び評価方法 ・東京情報大学学則第 22 条に、履修登録した授業科目は、試験により成績評価することを規定している。 ・学則第 22 条に規定する試験に関する必要事項を定めている東京情報大学試験実施内規の第 18 条に、「各授業科目の成績は、100 点を満点とし、60 点以上（秀，優，良，可）を合格，60 点未満（不可）及び試験欠席（欠席）を不合格とする。」と規定している。 第 22 条 学生は、所定の履修届に記載した授業科目の授業に出席した上で、試験を受けなければならない。 (1)試験の成績は秀，優，良，可及び不可をもって表わし，秀，優，良，可を合格とし不可を不合格とする。 (2)試験は 1 授業科目につき，毎年 1 回期日を定めてこれを行う。 (3)病気その他止むを得ない理由により試験を受けられなかった者は，追試験を受けることができる。 (4)実験，実習，実技及び演習はその出席状況，履修状況，学習報告等により試験に代えることがある。
・具体的な「成績評価基準」を、学生ハンドブック及び大学ホームページ（以下のとおり）に掲載している。 https://www.tuis.ac.jp/support/completion/evaluation/ 1：履修した授業科目の成績評価は、原則として試験（筆記試験・論文・レポート・その他）により行います。 2：成績評価基準、および成績証明書等の成績の表記は、下表のとおりです。 3：放送大学および千葉県内私立大学との単位互換科目の成績評価は、当該大学の評価を、それに

該当する本学の標語に置き換えて表示する。

・成績評価と GP

判定	評価点	成績原簿表記	成績証明書表記	G P	成績評価内容
合格	100～90 点	秀	秀	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	89～80 点	優	優	3	到達目標を十分に達成している
	79～70 点	良	良	2	到達目標を達成している
	69～60 点	可	可	1	到達目標を最低限達成している
不合格	59 点以下	不	表示せず	0	到達目標を達成していない
	—	欠	表示せず	0	試験欠席・レポート未提出・出席不足
合格	—	認	認	—	対象外とする

※成績証明書への「秀」の表記は、平成 29 年度以降の入学者が対象です。

※当該授業担当者の定める授業日数を満たしていない場合（原則として 2/3 以上の出席が必要）、最終試験を受験したとしても、出席不足という扱いで「欠」となることもあります。

・各授業科目担当者は、シラバスに記載した成績評価の方法による成績と上記成績評価基準に基づき、厳格かつ適正に評価し単位を与えている。

○GPA の算出方法

・GPA 制度

GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいいます。この GPA は、学修への取り組みを質的に把握するための指標となり、学期ごとに比較することで、学修した成果を判断する目安となります。また、不合格の科目も算出対象となるので、計画的な履修をするよう心がけてください。

・成績評価と GP

成績評価	GP	点数	備考
秀	4	100 点～90 点	
優	3	89 点～80 点	
良	2	79 点～70 点	
可	1	69 点～60 点	
不	0	59 点以下	
欠	0	欠席	
認	—	—	対象外とする

・GPA 算出方法

GPA＝（科目の単位数×GP）の合計／履修登録科目の単位数の合計

＊小数点第 3 位下四捨五入

＊分母の総単位数には、不合格科目（評価が「不」、「欠」）の単位数を含む

・対象科目

全学共通科目、学科専門科目の全てを対象とするが、教職課程科目、保健師課程科目は対象外とする。また、本学以外の大学等で修得した単位（1 年次入学・編入学前の認定単位、単位互換科目の単位）も対象外とする

○本学を卒業するための要件

- ・4 年以上在学すること。

・各学部、入学年度ごとに定める卒業要件単位数を修得していること。

卒業要件単位数（総合情報学科の2017～2022年度入学者に適用）

情報システム学系

卒業要件単位数														
合 計	◎必修科目						○選択必修科目					△選択科目		
	現代 実学	外国語	基礎 演習	情報 基礎	専門 基礎	卒業 研究	スポ ーツ	外国語	知識 創造	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 (基礎・応用)
	4	4	2	6	13	11	1	2	2	18	6	8	※	47
124	40						29					55		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
- (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。
- (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である18単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (4) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である6単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。
- (6) 自由選択科目を履修し修得した単位は、20単位まで専門選択の単位とする。
ただし、このうち科目区分「社会情報」の単位は8単位以内とする。

数理情報学系

卒業要件単位数																
合 計	◎必修科目							○選択必修科目					△選択科目			
	現代 実学	外国語	基礎 演習	総合 基礎	情報 基礎	専門 基礎	卒業 研究	スポ ーツ	外国語	知識 創造	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 (基礎・応用)	
	4	4	2	4	6	19	11	1	2	2	12	12	4	※	41	
124	50							29					45			

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
- (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。
- (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である12単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (4) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である12単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。
- (6) 自由選択科目を履修し修得した単位は、20単位まで専門選択の単位とする。
ただし、このうち科目区分「社会情報」の単位は8単位以内とする。

社会情報学系

卒業要件単位数														
合 計	◎必修科目						○選択必修科目					△選択科目		
	現代 実学	外国語	基礎 演習	情報 基礎	専門 基礎	卒業 研究	スポ ーツ	外国語	知識 創造	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア デザイン	専門選択 (基礎・応用)
	4	4	2	6	6	11	1	2	2	10	8	8	※	68
124	33						15					76		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
- (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。
- (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である10単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
- (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。
- (5) 自由選択科目を履修し修得した単位は、20単位まで専門選択の単位とする。

卒業要件単位数（総合情報学科の2023年度以降入学者に適用）

情報システム学系

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代実学	外国語	知識創造	基礎演習	総合基礎	情報基礎	専門基礎	専門応用	卒業研究	スポーツ	外国語	専門基礎	専門応用	総合基礎	キャリアデザイン	専門選択（基礎・応用）
	4	4	2	1	－	10	19	3	11	1	2	8	8	8	※	43
124	54									19				51		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
 (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である8単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (3) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である8単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (4) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
 (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

データサイエンス学系

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代実学	外国語	知識創造	基礎演習	総合基礎	情報基礎	専門基礎	専門応用	卒業研究	スポーツ	外国語	専門基礎	専門応用	総合基礎	キャリアデザイン	専門選択（基礎・応用）
	4	4	2	1	4	10	13	－	11	1	2	24	－	4	※	44
124	49									27				48		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
 (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である24単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (3) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
 (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

※2022～2024 入学者に適用

卒業要件単位数																
合計	◎必修科目									○選択必修科目				△選択科目		
	現代実学	外国語	知識創造	基礎演習	総合基礎	情報基礎	専門基礎	専門応用	卒業研究	スポーツ	外国語	専門基礎	専門応用	総合基礎	キャリアデザイン	専門選択（基礎・応用）
	4	4	2	1	4	10	9	－	11	1	2	24	－	4	※	48
124	45									27				52		

- (1) キャリアデザイン科目（※）は専門選択の単位とする。
 (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である24単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (3) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
 (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

※2025 以降入学者に適用

情報メディア学系

卒業要件単位数																
合計	◎ 必修科目									○ 選択必修科目				△ 選択科目		
	現代 実学	外国 語	知識 創造	基礎 演習	総合 基礎	情報 基礎	専門 基礎	専門 応用	卒業 研究	スポ ーツ	外国 語	専門 基礎	専門 応用	総合 基礎	キャリア アデザ イン	専門選択 (基礎・応用)
	4	4	2	1	－	10	6	－	11	1	2	10	－	8	※	65
124	38									13				73		

- (1) キャリアデザイン科目(※)は専門選択の単位とする。
 (2) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である10単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。
 (3) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い10単位まで専門選択の単位とする。
 (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。

卒業要件単位数（看護学科の2017～2021年度入学者に適用）

卒業要件単位数									
合計	全学共通科目		基礎科目	専門教育科目		全学共通科目	基礎科目	専門教育科目	
	全学基礎科目		基礎科目	専門基礎科目	専門科目	全学基礎科目	基礎科目	専門基礎科目	専門科目
	必修	選択必修	必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択
124	4	2	2	29	75	12			

必修科目110単位、全学基礎科目のスポーツ演習a～d及び英語a～dから各1単位以上、全ての選択科目から12単位以上（全学基礎科目及び基礎科目から5単位を必ず修得）を修得し、124 単位以上を修得すること。

卒業要件単位数（看護学科の2022年度以降入学者に適用）

卒業要件単位数									
合計	全学共通科目		基礎科目	専門教育科目		全学共通科目	基礎科目	専門教育科目	
	全学基礎科目		基礎科目	専門基礎科目	専門科目	全学基礎科目	基礎科目	専門基礎科目	専門科目
	必修	選択必修	必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択
124	4	2	1	27	78	12			

必修科目110単位、全学基礎科目のスポーツ演習a～d及び外国語から各1単位以上、全ての選択科目から12単位以上（全学基礎科目及び基礎科目から7単位を必ず修得）を修得し、124 単位以上を修得すること。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
総合情報学部	総合情報学科	124 単位	有・無	48 単位
看護学部	看護学科	124 単位	有・無	46 単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.tuis.ac.jp/university/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	学年	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
総合情報 学部	総合情報 学科	1	780,000	270,000	292,500	実習演習費、整備拡充費等をその他の費用として計上している。
		2	810,000	-	282,500	
		3	840,000	-	282,500	
		4	870,000	-	282,500	
看護学部	看護学科	1	1,000,000	270,000	352,500	
		2	1,100,000	-	472,500	
		3	1,200,000	-	472,500	
		4	1,300,000	-	472,500	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学生が授業を受講するために必要な情報を掲載している。 ・履修登録について ・授業・試験について ・欠席時の届出について ・合理的配慮申請について また、学内で利用するシステムの一覧を掲載し、リンクできるようにしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ○就職支援プログラム 1年生からなりたい将来像をイメージし、キャリアをデザインできるように、カリキュラムと連動したプログラムを展開している。また、学生一人ひとりが『満足のいく進路選択』ができるように工夫された独自のキャリア支援プログラムを提供している。 ○進路指導体制 キャリア課、研究室、先輩の密接な連携により、きめ細かな進路指導体制を実現している。また、就職支援のイベントとして、マナー講座や筆記試験・面接対策などの実践的な内容を実施するとともに、企業情報・求人情報の提供や個別相談によるサポートなど、総合的に学生の就職活動を支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 本学では、学生及び教職員の健康の保持増進を図るために医務室を設けて、学校保健安全法に基づく定期健康診断の実施、感染症予防対策の実施等を行うほか、心と身体の健康相談等も行っている。 医務室では、学校医・看護師が在室し、健康相談等に応じている。また、医務室内の学生相談室（カウンセリングルーム）では専門のカウンセラーが相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.tuis.ac.jp/university/public-info/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。